

神戸大学経済経営研究所 公開シンポジウム

計算社会科学からの挑戦

[リスク社会におけるメディアの発達とソーシャル・キャピタル]

リスク社会と呼ばれる現代。急速に発展するメディアは相互作用しながらソーシャル・キャピタル(人々の信頼関係や結びつき)に大きな影響を及ぼしています。同時に、ビッグデータや高度な計算技術を社会科学に応用した「計算社会科学」と呼ばれる新たな学問領域が急速に発展しています。本シンポジウムでは、計算社会科学を用いてリスク社会とソーシャル・キャピタルを分析した最新の研究成果を一般の方にご紹介し、その後、参加者の皆様と一緒に今後の課題を議論します。

日時

2017年9月8日(金) 14時~17時30分

会場

神戸大学出光佐三記念六甲台講堂

PROGRAM

14:00 開会挨拶 上東 貴志(神戸大学経済経営研究所長)

14:10 講演1 「間メディア社会における公共圏とソーシャル・キャピタル:計算社会科学からのアプローチ」
遠藤 薫(学習院大学法学部・教授)14:35 講演2 「ネットコミュニティにおけるソーシャル・キャピタル:ユーザ属性推定とそれを用いた情報伝播分析」
鳥海 不二夫(東京大学大学院工学系研究科・准教授)15:00 講演3 「ソーシャルメディアにおける情報拡散の理解と制御」
栗原 聡(電気通信大学大学院情報システム学研究科・教授)15:15 講演4 「ネットは人を保守的にさせるのか?コミュニケーションのフレームワークを考える」
数土 直紀(学習院大学法学部・教授)15:30 講演5 「東日本大震災と政治意識:存在脅威管理理論にもとづく保守化現象の検証」
秦 正樹(北九州市立大学法学部政策科学科・専任講師)15:45 講演6 「テキスト分析による社会変動の計測」
上東 貴志(神戸大学経済経営研究所長)

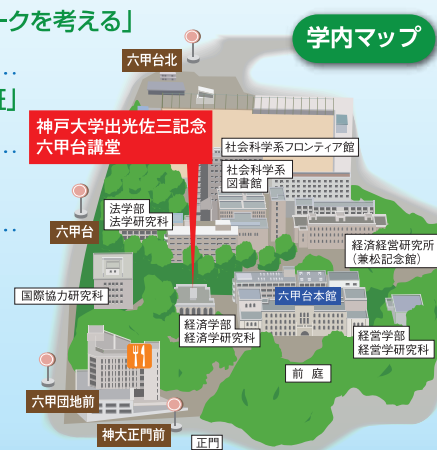
16:00 休憩 (10分間)

16:10 パネルディスカッション 「計算社会科学の成果と課題」
司会:上東 貴志
パネリスト:遠藤 薫、鳥海 不二夫、栗原 聡、数土 直紀、秦 正樹

16:55 質疑応答 全講演・パネルディスカッションについて(講演者全員)

17:20 閉会挨拶 品田 裕(神戸大学副学長)

司会・進行 堀江奈々子(神戸大学発達科学部人間表現学科3回生)



【最寄り駅から】
阪神御影駅・JR六甲道駅・阪急六甲駅から神戸市バス36系統
「鶴甲団地行」または「鶴甲2」目止まり行き乗車、「神大正門前」(S停下車)
【新神戸駅より】
タクシーにて約15分※ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

お申し込み方法

以下の窓口まで、①E-mail、②郵便葉書、③FAXのいずれかにて、氏名、所属・役職(なしでも結構です)、住所、電話番号をお寄せ下さい。お申し込みを受理させて頂いた方には、開催3日前までに受講証をお送りしますので、当日ご持参下さい。
※お申し込みの受付は受講証の発送をもって代えさせていただきます。

お申し込み窓口

神戸大学経済経営研究所 公開シンポジウム担当
〒657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町2-1
E-mail:sympo@rieb.kobe-u.ac.jp FAX:078-803-7059
※お電話でのお申し込み、お問い合わせはご遠慮下さい。

定員/先着300名(定員に達し次第締切ります)
参加費/無料

【主催】 神戸大学経済経営研究所
日本学術振興会「課題設定による先導的的人文・
社会科学研究推進事業・領域開拓プログラム」
『リスク社会におけるメディアの発達と公共性の構造転換～
ネットワーク・モデルの比較行動学に基づく理論・実証・シミュレーション分析』
【共催】 神戸大学先端融合研究環
【協賛】 公益財団法人 神戸大学六甲台後援会